8月 しいのみぐみ・たんぽぽぐみ・みずぐみ クラスだより

2022、8、29
えんまちまぶねりんぽえん

楽しかったプールも終わりを迎え、朝、夕と少し涼しくなって秋の気配を感じるようになってきました。日中はまだまだ気温も高く、熱中症には気をつけないといけませんが、少しずつ過ごしやすくなる9月に散歩や運動あそびをして身体を動かす心地良さを感じていきたいと思います。

しいの実ぐみ

8月は、お休みが多く、みんなが揃うことが少なかったのですが、登園した日は、機嫌よく笑顔で過ごす子どもたちです。
園での生活にも慣れて、保育者との関係も深まり、安心して過ごせるようになったと感じています。
階段やすべり台の上り下りも、たくさん床を這って身体を動かした子どもたちは、上手に身体を使うことができるようになってきました。最近は、床から立ち上がる姿や、少しずつひとり歩きができるようになってきた子どもたちです。中には、もう靴を履いて戸外の散歩にも出かけられそうな子どもたちもいます。そこで、靴選びのポイントをお知らせしたいと思います。

①マジックテープで調節できるもの。(足にフィットする。)
②つま先に足の指が伸びる広さや厚み(高さ)があるもので、靴底がしっかりしていてクッション性があり、厚すぎないもの。(足の指で地面をつかむようにして歩くので指を動かせる余裕が必要。)
③足首を包み込む深さがあり、かかとで足が固定されるもの。(足が固定されることで安定した歩行ができ、指先の障害を防ぐ。)
④足の曲がる位置で靴も曲がるもの。
⑤吸収性や通気性のよい、軟らかい素材のもの。(足に直接触れたり、汚れやすいので、洗える素材。)

歩くことにより、全身の血のめぐりがよくなり、心臓の働きを助け、全身の持久力が高まります。たくさん歩くことで、足の指の力や機能を高め、歩く時のバランス・足踏んばる力がついて、転びにくくなります。
子どもの歩くペースに合わせていると、待てずに抱っこをしてしまうこともあると思いますが、時間に余裕を持って、一緒に歩く、散歩を楽しみ、親子の貴重な時間を楽しんでみてはいかがでしょう。
園では、室内での歩行が安定し、靴を履いて出かけても大丈夫かな?と判断したら、声をかけさせていただきますので、その時は、靴の準備をお願いします。名前も書いてください。

☆感触あそび☆

寒天であそびました。きっと初めて触れるであろう寒天の感触を

たんぽぽぐみ

7~8月はセミ捕りを楽しみました。保育園の近くにセミがたくさん鳴いているスポットがあります。虫カゴと虫網を持って「しゅっぱつ しんこう エイエイオー!!」とはりきって出発です。暑い日が続き園の外に出ることも減っているので少し外へ出掛けるのも、子どもたちにとってはうれしい時間です。初めてセミ捕りに行った時は、いざ保育者が虫網でセミを捕えてみると、初めて近くで見るセミと大きな鳴き声に驚き、怖がる子どもがほとんどでした。虫カゴに入れて園に持ち帰っても近付こうとしません。短いセミの命なので、昼には屋上へ行って逃がしてあげたのですが「バイバーイ!!」ははりきっていた子どもたちでした。
その後も夏ならではのセミ捕りに興味を持ってほしい保育者の思いがあり、何度かセミ捕りへ行きました。最初は怖がっていた子どもも少しずつセミの見た目や鳴き声に慣れて興味を持つようになってきました。カゴの中からは足をちょんっと触れる子どもも出てきて、「セミさん バイバイ しに行こうか~」と言うと「イヤ。」と言う子どももいました。8月に入ってからのセミ捕りでは捕ってきたセミをお部屋で歩かせてみました。すると半数くらいの子どもが自分から"ちょんちょん"とセミの背中を触っていました。子どもたちにとってくり返しの経験がとても大切だな~と実感した出来事でした。これからもたくさんの生き物に触れて命の大切さを知っていってほしいと思っています。

野菜マークのたんぽぽ組の子どもたち。春頃は自分のマークを見ても「・・・?」だった子どもたちですが、最近では自分のマークに愛着がわいてきて、見つけるとうれしそうな姿があります。服を着替える時もカゴの中から自分のマークのついた服を探して、見つけると「あった~」と保育者に持ってきてくれるようになりました。
給食やおやつの時も自分のマークの所からタオルを取り出して、手をふくとまたマークの所に片付けられるようになっています。少しずつですが、脱いだ衣服もマークのロッカーの袋に入れています。
日々の生活の中でいつも身近にあるマークが大好きになり、給食でその食材が出てくると「ぼく(わたし)のマーク!」とうれしそうに伝えてくる子どもたちです。でも、なぜか多くの子どもが自分のマークの野菜を食べるのは苦手なようです。給食に出てくるとうれしそうに伝えているけれど口には運ばず最後まで残っている…という可愛らしい光景です。
少しずつ食べることも好きになってくれたらいいな~と思います。
※上記でも書いているように自分たちで脱いだ衣服やタオルなどを汚れ物袋に片付けるようにしています。保育者も一緒に片付けたり、確認をして気をつけて見ていますが、入れ間違い等も起こっています。温かく見守っていただけたら…と思っています。

最近の好きな体操

ジャングル ぐるぐる　川をとび越えるジャンプやハビやサイになったり、トンネルをくぐって楽しみます。

みずぐみ

♡大好き♡プール!!

7月から入っていたプールですが、協力休園等で入れない日もありました。最初、子どもたちは水しぶきが苦手で、激しく動くのはちょっと…と控えめだったのですが、プールが終わる頃になるとダイナミックに水の中へ飛び込む姿も増えてきました。「せんせーみててや!」「みてみて!!」と顔つけをしたり、ジャンプして大きな水しぶきをあげたり、こんなにスゴイことできるよ!!ともうもうした表情でアピールしてくる子どもたちでした。来年は幼児用の大きなプールになります。楽しみですね♡

おままごとが新しくなった

今までおままごとの"ごはん"はフェルトで作った物だったのですがおばじきをゴムでつなげた物とチェーンリングをつなげた物に変えました。そしてタッパーやスプーンを新たに準備し、おままごとコーナーを充実させました。
見て遊びをはじめるようになる年齢なので、子どものイメージに合わせて接えるようにすると、タッパーに入れ「せんせーやってー」とハンカチに包んでほしいと持ってきます。
それを手にかけてピクニックへ出かけます。
1人が始めると、1人、2人と集まりみんなでピクニック気分でお弁当を広げ、「これは○○の△△(野菜)やでー」チェーンリングを長くつなげたものを「いい、ちゅるちゅるでーす」「おうどんですか?」「ちがいます!! そうめんでーす」と子どもたち同士、保育者も一緒に会話を楽しみながら、おままごとで遊んでいます。これからも色々な素材を用意し、ただごちそうを作るだけではなく、2歳児の今楽しめる、並べたり出し入れしたりする操作遊びも充実させて遊び込んでいきたいと思います。